

科目名	基礎作業学					授業の種類	講義	必修・選択		必修
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1	単位	配当学年時期	2年	前期
【授業の目的・ねらい】 作業療法の治療手段である作業の持つ意味や作業の捉え方に関する変遷を学び、作業活動と人との関わりや諸機能への影響等を理解する。										
【実務者経験】 作業療法士として順心リハビリテーション病院及び介護老人保健施設夢前白寿苑にて、身体障害領域での幅広いリハビリテーション業務に従事経験。										
【授業全体の内容の概要】 1年次に行った「基礎作業学実習」で体験した作業活動についての歴史や作業の持つ意味、扱う物品などを学ぶ。										
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 その作業についての身体的・精神的な特性を表出することができる。 国家試験の「作業学」に対応できる知識を身につけることができる。										
回数	講義内容									準備物(教材)
1	オリエンテーション、作業学の目的									
2	作業分析について									
3	作業の持つ意味									
4	作業の持つ意味									
5	集団の持つ意味（集団の特性）									
6	集団の持つ意味（集団における作業療法士の意味）									
7	作業科学について									
8	作業科学について									
9	作業活動①									
10	作業活動②									
11	作業活動③									
12	作業活動④									
13	作業活動⑤									
14	作業活動⑥									
15	まとめ									
定期筆記試験										
【使用教科書・教材・参考書】 作業療法学 ゴールドマスター・テキスト 「作業学」										
【準備学習・時間外学習】 作業についての幅広い知識が必要です。レポート課題の準備が必要です。 定期試験のための講義の復習が必要です。										
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】										
試験の結果を100点満点として成績を評価する 課題の評価を20点、定期試験を80点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する										